

低炭素生活のご提案

～温室効果ガス25%削減を考える～

一昨年度（2008年度）における温室効果ガス排出量の確定値が、平成22年4月に発表されました。それによると、国内におけるエネルギー起源CO₂の排出量は、基準年である1990年と比較して約11億4千万トン（約6%の増加）となり、中でも民生部門（家庭部門や業務部門など）においては約4億1千万トン（約40%の増加）と、他の部門と比較して大幅に増加した結果となりました。

これらの状況を踏まえ、家庭におけるCO₂の少ない生活スタイルの提案を中心としたシンポジウムを開催します。

◆日時：

平成23年1月29日（土）

13:30～16:00（開場 13:00）

◆場所：

名古屋栄ビルディング

◆定員：100名

※定員になりしだい締め切ります。

◆参加申込：

Eメール、FAX又は郵送にて1月21日（金）まで、裏面の参加申込書（記載内容を満たしていれば、自由様式でも結構です）を下記問い合わせ先まで送付下さい。



●住所

名古屋市東区武平町5丁目1番地

●電話

052-961-1507

●アクセス

地下鉄：東山線、名城線「栄駅」
下車 5番出口から徒歩2分

●主催

中部エネルギー・温暖化対策推進会議

（事務局：経済産業省中部経済産業局、環境省中部地方環境事務所）

●問い合わせ先

環境省中部地方環境事務所環境対策課（担当：原田、森木）

住所：〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-2

TEL：(052)955-2134 / FAX：(052)951-8889

Eメール：REO-CHUBU@env.go.jp

パネルディスカッション コーディネーターのご紹介



杉山 範子 (すぎやま のりこ) 氏

名古屋大学大学院 環境学研究科 環境政策論講座 特任准教授

【経歴】 岐阜県山県市出身。2002年まで日本気象協会勤務、ウェザーキャスターを務める。名古屋大学大学院環境学研究科博士後期課程修了後、同環境学研究科助教を経て、2009年11月より現職。博士（環境学）。東海地域のCO2マイナス80%ロードマップづくりなど「地域気候政策」（地域の温暖化対策）を研究中。NPO法人気象キャスターネットワーク理事。気象予報士。

【専門】 環境政策、気象学

【所属学会・協会等】 環境科学会、環境経済・政策学会、日本計画行政学会、日本環境共生学会

【プログラム】

■基調講演

『低炭素生活のご提案』

講師：環境省 地球環境局地球温暖化対策課

国民生活対策室 室長 植田 明浩 氏

■パネルディスカッション

『家庭における二酸化炭素削減を目指したライフスタイルについて』

◇コーディネーター

・名古屋大学大学院 環境学研究科 環境政策論講座
特任准教授 杉山 範子 氏

◇パネリスト

・シャープ株式会社 研究開発本部 エコハウス事業化推進センター
・社団法人 住宅生産団体連合会
・愛知消費者協会
・名古屋市
・環境省

中部エネルギー・温暖化対策推進会議とは

本推進会議は、中部地域の国の地方支分部局、地方公共団体、エネルギー関係者、経済団体、消費者団体、環境NPO等をメンバーとして、中部地域におけるエネルギー・温暖化対策に関する情報を交換、共有し、エネルギー需給構造に関する実態把握等を図り、地方公共団体をはじめとする中部地域の地球温暖化対策に関する自主的な取組を促進するため、平成17年3月31日に設置され、事業を展開しています。

キ リ ト リ

参加申込書

環境省中部地方環境事務所環境対策課 行
(FAX: 052-951-8889)

ご所属団体 _____ お名前 _____

お電話番号 () _____ FAX番号 () _____

※お申込をいただいた方へは、定員を超えた場合のみご連絡いたします。
※個人情報、本会のみを使用することとし、他の目的では使用いたしません。